



【6/20 開催】 G20 サミット首脳会合直前 C20 政策提言書 2019 から学ぶ ～私たちが考える社会の課題～

世界各国の市民社会組織（CSOs）によって G20 大阪サミットに向けて作られた「C20 政策提言書 2019」を使ったメディア向け勉強会を、6月20日（木）に都内で開催いたします。

G20 大阪サミットに先駆けて4月に開催された「C20 サミット」では、世界40か国のべ840名のCSOs、国際機関、政府関係者が集まり、反腐敗、教育、環境・気候・エネルギー、ジェンダー、国際保健、インフラ、国際財政構造、労働・ビジネスと人権、CSOsのあり方、貿易と投資などの幅広い課題を3日間にわたり議論しました。

同会議では、60カ国以上の市民社会関係者が知恵を集めて策定した「C20 政策提言書 2019」が発表され、G20 大阪サミットの議長である安倍晋三首相や、阿部俊子外務副大臣にも手渡されました。

本勉強会では、C20 サミットの成果および政策提言書について紹介し、経済成長の陰で抜け落ちてしまう課題について提起いたします。6月28-29日に開催される G20 大阪サミットで取り上げられる課題に対し、市民社会からの提言を発表します。

- 開催日：2019年6月20日（木） 14：00～15：30（受付開始：13:30～）
- 場所：国連大学ライブラリースペース（東京都渋谷区神宮前5丁目53-70）
- プログラム：14:00 C20 共同議長より政策提言の概要紹介
政策提言執筆者による課題の提起
質疑応答、参加者との意見交換
15:30 閉会
- 主催：2019 G20 サミット市民社会プラットフォーム
- 協力：国連大学サステナビリティ高等研究所（IAS）、
地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、認定 NPO 法人国際協力
NGO センター（JANIC）、（一社）SDGs 市民社会ネットワーク
- 助成：独立行政法人 環境再生保全機構
- 人数：30名（先着順）
- 参加費：無料
- お申し込み：人数確認のため、メールにてお申し込みください。



このイベントは 2019 年度地球環境基金
の助成を受けて実施しています。

【本件に関する取材などのお申込・お問い合わせ】

2019 G20 サミット市民社会プラットフォーム（SDGs 市民社会ネットワーク気付／担当：前川）
電話：050-7505-5221（対応可能時間：月・水・金 10時～18時）
メール：event@sdgs-japan.net

C20 サミットとは*公式サイト：<https://civil-20.org/>（英語）

2008年に開始された「G20 サミット」（20カ国・地域首脳会合）には、その重要性に鑑み、世界の経済界（B20）、労働界（L20）、学術界（S20）、女性（W20）、若者（Y20）などが提言をする「エンゲージメント（参画）グループ」という枠組みがあります。「市民社会（C20）」はその一つで、世界の市民社会組織（CSO）が集まって提言を行います。2013年のロシア G20 サミットから毎回開催されており、今年（2019）は2019 G20 サミット市民社会プラットフォームが事務局となり、4月21～23日に東京でC20 サミットを開催、参加者は3日間合計でのべ840人を数え、過去最大規模となりました。

C20 政策提言書とは*PDFはこちら：<https://bit.ly/2HrIWYc>（英語）

途上国の開発や、災害・紛争などに関わる緊急人道支援、地球環境問題、地域の経済活性化や環境保護などに取り組む NGO・NPO などの市民社会組織（CSO）が、現場で課題に取り組むことで得た知見・経験を踏まえて、G20 の主要なテーマに関して政策提言としてまとめたものです。NGO が現場で直面する課題や、その解決方法、背景にある経済的・社会的な問題について提言しています。同提言書は、国内外から410名がオンライン上で議論し、作成されました。同提言書は G20 議長である安倍晋三首相に手渡されました。

2019 G20 サミット市民社会プラットフォームとは *<http://www.civil-20.jp/>（日本語）

日本の CSO が開催国の市民社会として設立したのが「2019 G20 サミット市民社会プラットフォーム」です。2018年1月に暫定的なネットワークとして設立された後、同年6月19日に設立総会が開催され、規約を採択するとともに、2名の共同代表と9つの幹事団体を選出し、本格設立に至っています。2019年5月31日現在、71団体が参加しています。

本勉強会の登壇者略歴

役職	氏名	現職・略歴等
C20 議長	岩附 由香	認定 NPO 法人 ACE 代表 1997 年大阪大学大学院在学中に児童労働に反対するグローバルマーチ実現のため ACE を設立。2007 年以降 ACE の専従代表となり、児童労働に反対するグローバルマーチ理事、エシカル推進協会理事も務める。ACE はインドのコットン産業やガーナのカカオ産業の児童労働問題、アドボカシー、企業とのパートナーシップに取り組み、2016 年には日経ソーシャルイニシアティブ対象国際部門を受賞。 *認定 NPO 法人 ACE HP： http://acejapan.org/
C20 共同議長	三輪 敦子	一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪） 所長 日本赤十字社外事部、国連女性開発基金（現 UN Women）アジア太平洋地域バンコク事務所、（公財）世界人権問題研究センターにおいて、ジェンダー、開発、人道支援、人権分野の様々なプログラムの実施支援や調査・研究に携わってきた。2017 年より、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）所長。国連ウィメン日本協会副理事長。関西学院大学、京都女子大学等、非常勤講師。

		*ヒューライツ大阪 HP : https://www.hurights.or.jp/japan/
C20 シェルパ	稲場 雅紀	<p>一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク業務執行理事</p> <p>1969 年生。東京大学文学部東洋史学専修課程卒業。90 年代に横浜・寿町の日雇労働者の医療・福祉・生活相談活動に従事、その後当事者として「(特活) 動くゲイとレズビアンのか」政策提言担当副代表理事として LGBT の人権確立や HIV/AIDS 問題に取り組む。2002 年に国際協力活動に転じ、(特活) アフリカ日本協議会の国際保健部門ディレクターとしてアフリカのエイズ問題などに取り組む。MDGs・SDGs の推進のネットワークや TICAD に関わるネットワークの設立・運営に携わり、政府とも積極的に連携。</p> <p>*SDGs 市民社会ネットワーク HP : https://www.sdgs-japan.net/</p>
C20 副シェルパ	堀内 葵	<p>NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC) アドボカシー・コーディネーター。</p> <p>ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成や持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けた提言、NGO・外務省定期協議会の NGO 側事務局、G7 伊勢志摩サミットや G20 大阪サミットに向けた CSO プラットフォームの事務局などを担当、アジア各国のネットワーク NGO やグローバル NGO ネットワークとの連携構築に従事。「防災・減災日本 CSO ネットワーク (JCC-DRR)」事務局長、「NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS)」世話人。</p> <p>*JANIC HP : https://www.janic.org/</p>
C20「貿易・投資」 ワーキング・グループ 国内コーディネーター、 デジタル経済タスク フォース・国内コ ーディネーター	内田 聖子	<p>NPO 法人アジア太平洋資料センター (PARC) 共同代表。</p> <p>慶應義塾大学文学部卒業 (専攻は社会学)。出版社勤務などを経て 2001 年より同センター事務局スタッフとなる。TPP をはじめとする自由貿易・投資協定のウォッチと調査、政府や国際機関への提言活動、市民キャンペーンなどを海外の市民社会団体とともに行う。現在は TPP、日欧 EPA、RCEP 等のメガ FTA に関して情報収集と提言活動を行う。共編著に『徹底解剖 国家戦略特区 私たちの暮らしはどうか?』(コモンズ)、『自由貿易は私たちを幸せにするのか?』(コモンズ)。近刊に『日本の水道をどうする?—公共サービスと自治の未来』(コモンズ、7 月刊行予定) など。「ISDS を貿易協定から除外するための国際キャンペーン」にも参画。</p> <p>★PARC のウェブサイト : http://parc-jp.org/index.html</p> <p>★ツイッター : @uchidashoko</p> <p>★ブログ : http://uchidashoko.blogspot.jp/</p>

会場へのアクセス

国連大学ライブラリースペース

住所：東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 2F / TEL：03-3407-8107

アクセス：表参道駅（東京メトロ：銀座線・千代田線・半蔵門線）B2 出口出て徒歩約 5 分
渋谷駅（JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ）宮益坂方面徒歩約 10 分